

開発商品を愛知こどもの国で販売へ

# 特産品の香りの芳香剤など

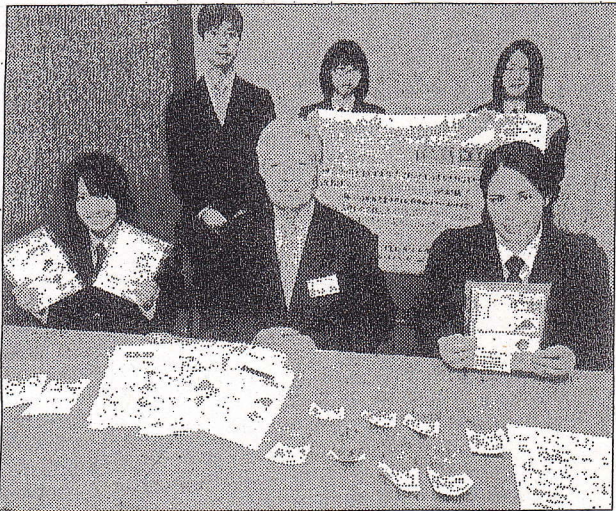
鶴城丘高生徒が榊原市長に報告

鶴城丘高校の「ビジネス実践」の授業の中で設立された仮想企業「株式会社カクジョーマーチ」の生徒たちが28日、西尾市役所を訪れ、利用者の減少で廃止が

危惧されている名鉄西尾・蒲郡線の存続を目的にした利用促進で開発した新商品の芳香剤「Nishio3姉妹」などを榊原康正市長に手渡した。

「カクジョーマーチ」は、4月初旬に国際ビジネス系列の生徒を中心に20人で設立。商品開発部門と企画部、広報部の3部門を設け、商品開発部門は三つのグループが試行錯誤を繰り返して、商品化をめざしてきた。これまで西尾の特産品の抹茶と、カボチャを使った「抹茶チョコクロワッサン」と「カボチャカレーパン」の二つ、地産地消の推進として「野菜コロシケ」と「カボチャコロシケ」の二つを商品化し、西尾祇園祭などで販売している。

今回の新商品は、西尾の特産品である「お茶」、「いちご」、市の花である「ばら」の香りがする3種類の芳香剤「Nishio3姉妹」と、その3種類の香りがするおしゃれなマスク「Aroma Mask」。



この日は、「カクジョーマーチ」の社長の加藤綺華さん(18) 〓安城市〓と経理部長の田中照美さん(18) 〓平坂町〓、広報部長の山崎美咲さん(18) 〓西幡豆町〓、広報部の田代恵理さん(17) 〓緑町〓、国際ビジネス系列の伊庭昌教諭の5人が市長室を訪れた。写真：加藤さんは「西尾・蒲郡線と愛知こどもの国が廃止にならないよう私たちが少しでも力になりたいと思います。11月3日に愛知こどもの国で開かれる秋まつりに出店します。今までの活動の集大成として、多くの人たちに私たちの活動を知ってもらえたらうれし」と話し、「Aroma Mask」の3枚セットを10個購入した榊原市長は「皆さんの活動に心を強くし、考え方が前向きでありたい。西尾・蒲郡線は学生の利用者も多いので、無くすわけにはいけない。これからもいろんなことを企画して応援をお願いします」と激励した。

今回の新商品は、西尾の特産品である「お茶」、「いちご」、市の花である「ばら」の香りがする3種類の芳香剤「Nishio3姉妹」と、その3種類の香りがするおしゃれなマスク「Aroma Mask」。